

# 2016年12月期 本決算説明会



# 本日まで説明する内容

## 2016年12月期 本決算

### 代表取締役社長 柳 弘之

#### ● 業績予想について

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありえますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。

# 2016年・2017年の要点

## ■ 経営業績

収益性改善進み、安定的利益水準を持続する。

	2016年	2017年
・売上高（前年比）:	92%（102%）※	106%
・営業利益（前年比）:	83%（117%）	111%
・当期純利益（前年比）:	105%	119%

## ■ ROE・CF経営

ROE15%水準へ、運転資金の効率化進む。

	2015年	2016年	2017年
・ROE:	12.6%	12.3%	13.5%
・CF（億円）:	△393	+722	+240

## ■ 商品競争力

お客様が多様化・アップグレード化する市場に向けて、  
ブランド個性を発揮する新商品を開発・市場投入する。

2016年：80、2017年：110、2018年：90（累計：280モデル）

# 経営業績：2016年（実績）

売上高：前年比92%（102%）※1

営業利益：前年比83%（117%） 安定的水準を確保。

当期純利益：前年比105%

（億円）	2015年 ※2	2016年	前年比
売上高	16,312	15,028	92%
営業利益	1,303	1,086	83%
営業利益率	8.0%	7.2%	△0.8pts.
経常利益	1,252	1,021	82%
当期純利益 ※3	600	632	105%
（\$・€）	121・134	109・120	—
（\$/IDR・BR\$）	13,400・3.3	13,300・3.5	—

※1 為替影響除く前年比

※2 前年実績：販売金融組替え後

※3 親会社株主に帰属する当期純利益

# 経営業績：2017年（予想）

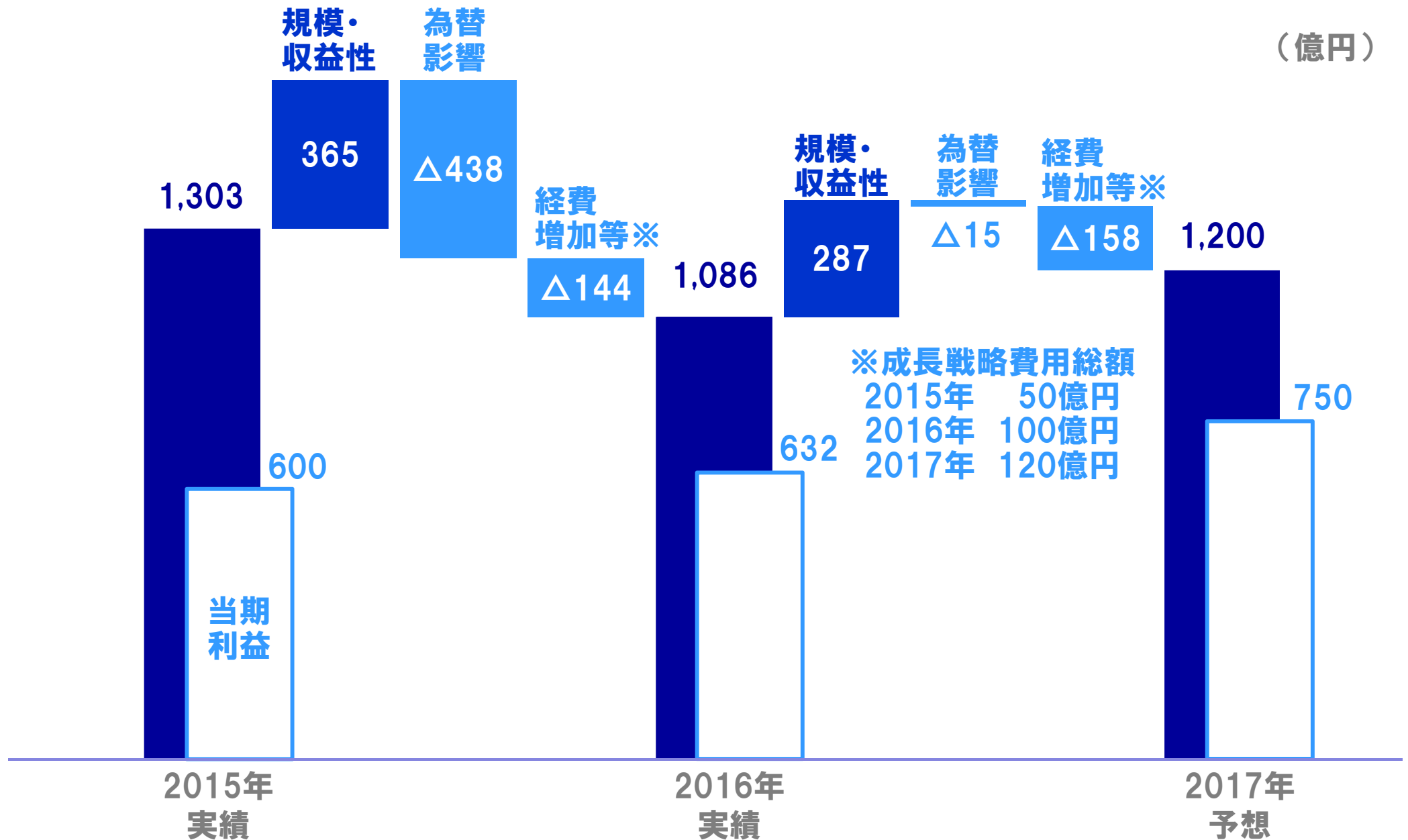
- 売上高：前年比 106%
- 営業利益：前年比 111%、安定的水準を持続。
- 当期純利益：前年比 119%

（億円）	2016年	2017年	前年比
売上高	15,028	16,000	106%
営業利益	1,086	1,200	111%
営業利益率	7.2%	7.5%	+0.3pts.
経常利益	1,021	1,200	118%
当期純利益	632	750	119%

（\$・€）	109・120	110・115	—
（\$/IDR・BR\$）	13,300・3.5	13,200・3.2	—

# 経営業績：営業利益変動要因

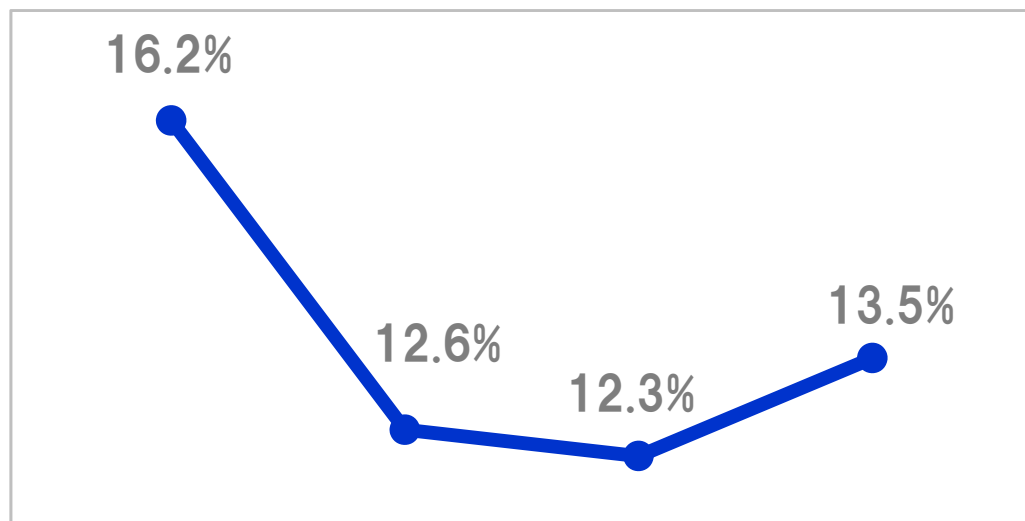
先進国・新興国で、収益性改善を持続する。



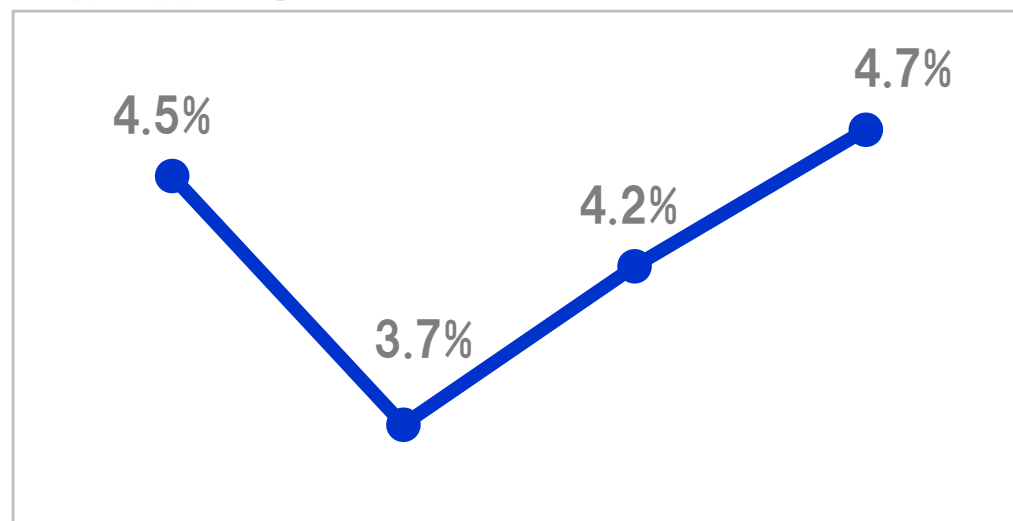
# ROE 経営

自己資本=5,000億円超へ、ROE=15%水準を目指す。

## ROE



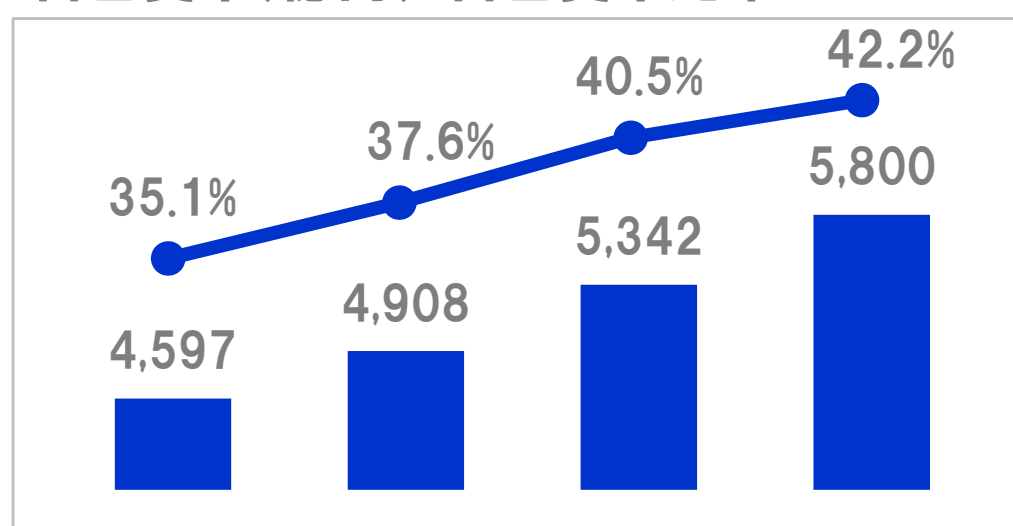
## 当期利益率



## 総資産回転率



## 自己資本(億円)・自己資本比率



2014年 2015年 2016年 2017年

2014年 2015年 2016年 2017年

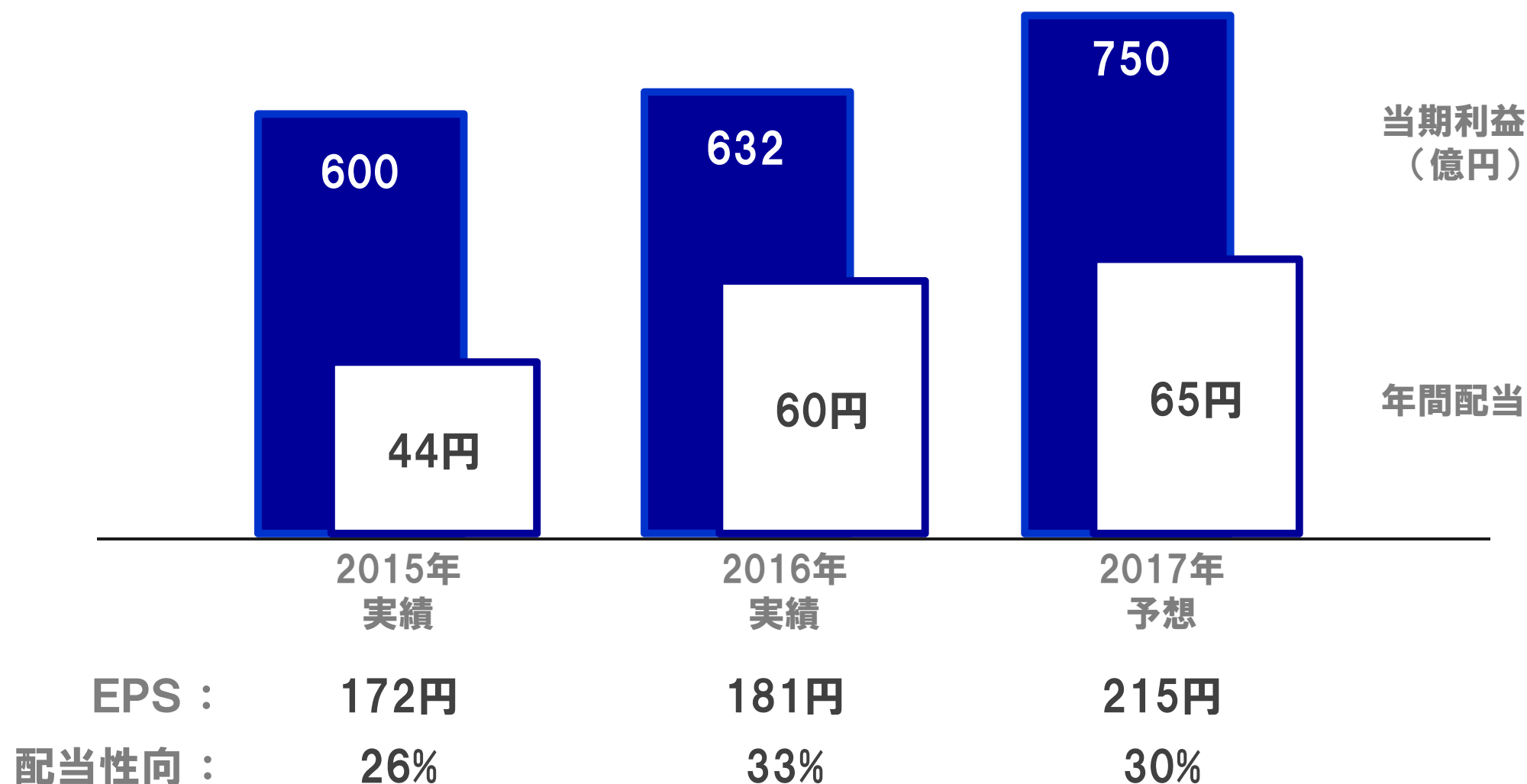




# 株主還元

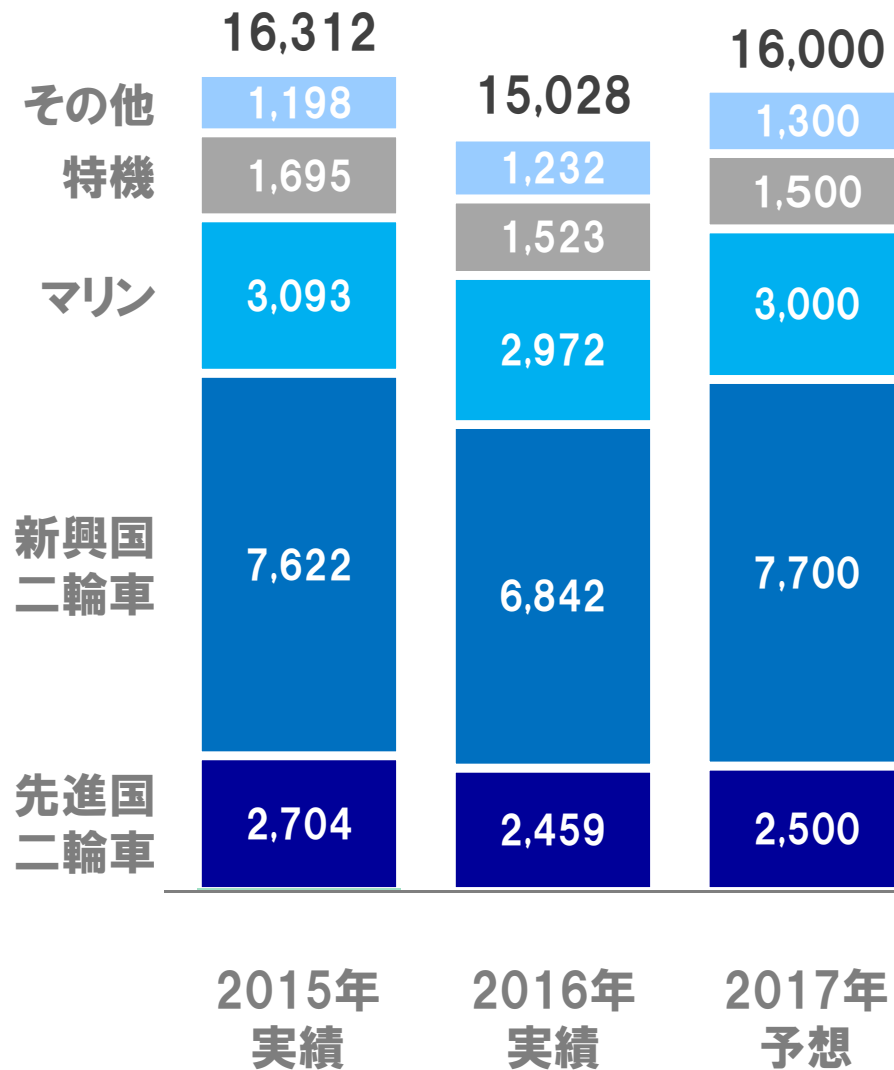
配当性向30%、5期連続の増配へ。

2016年：60円実施、2017年：65円予想

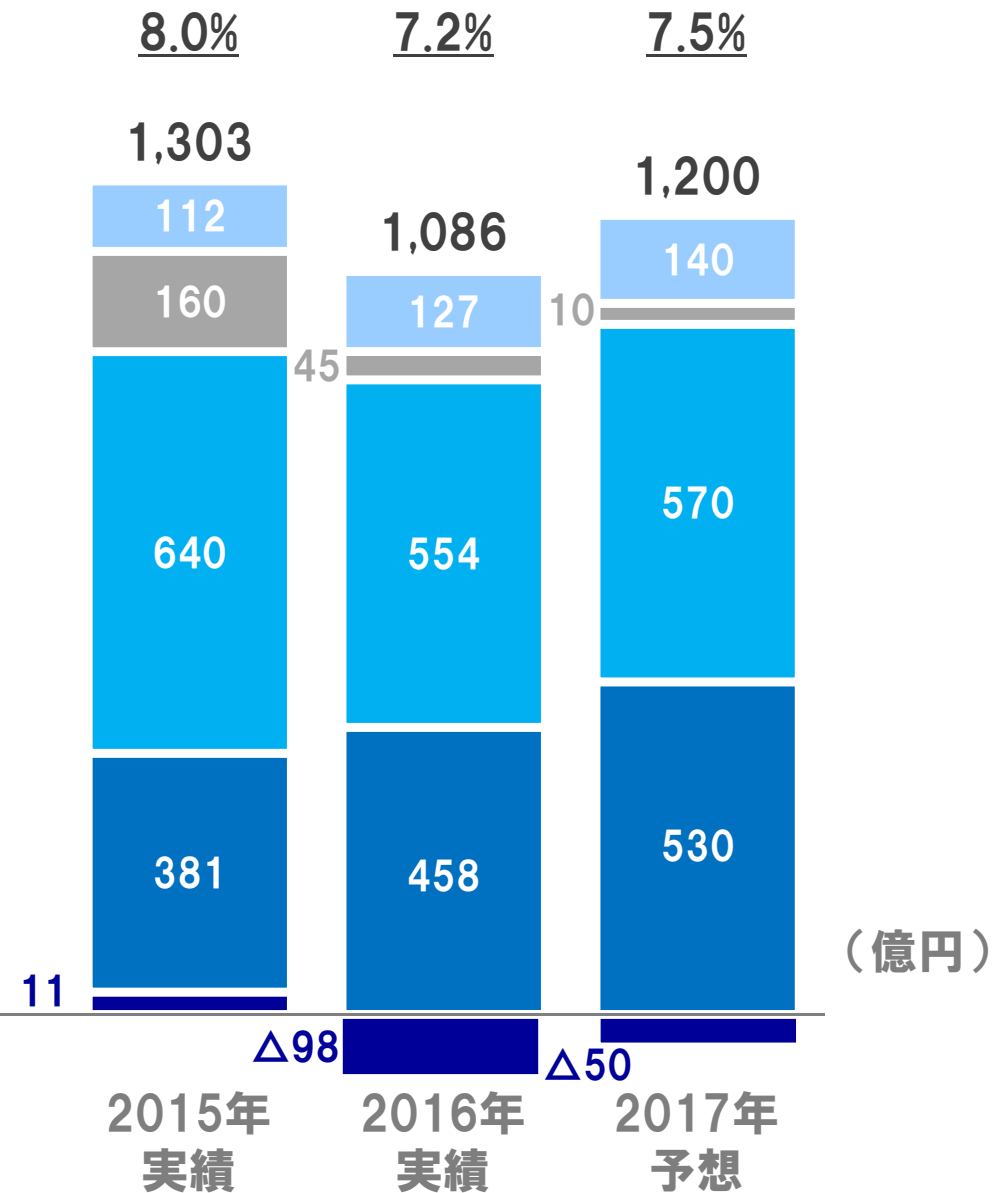


# 主な事業状況

## 売上高

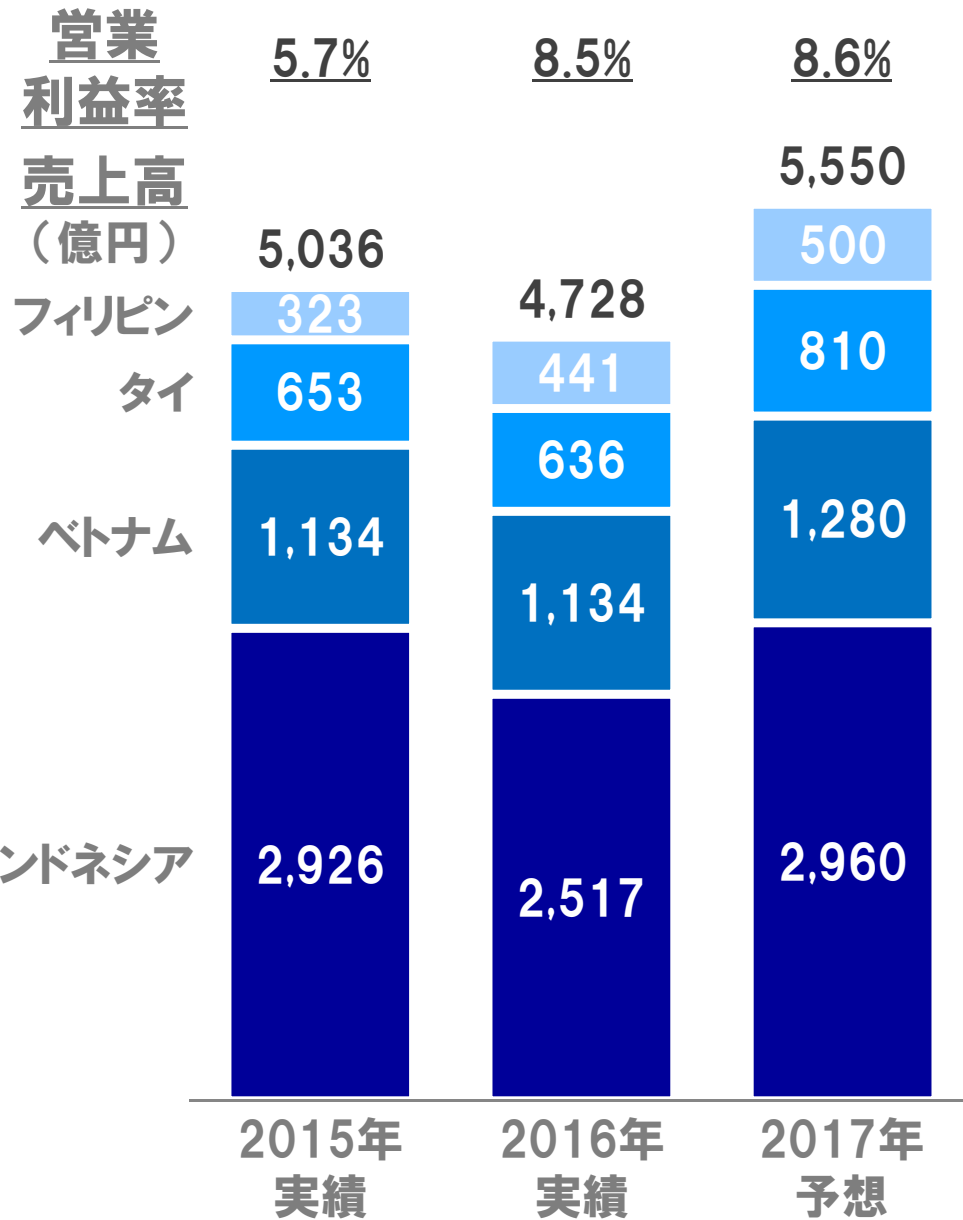


## 営業利益

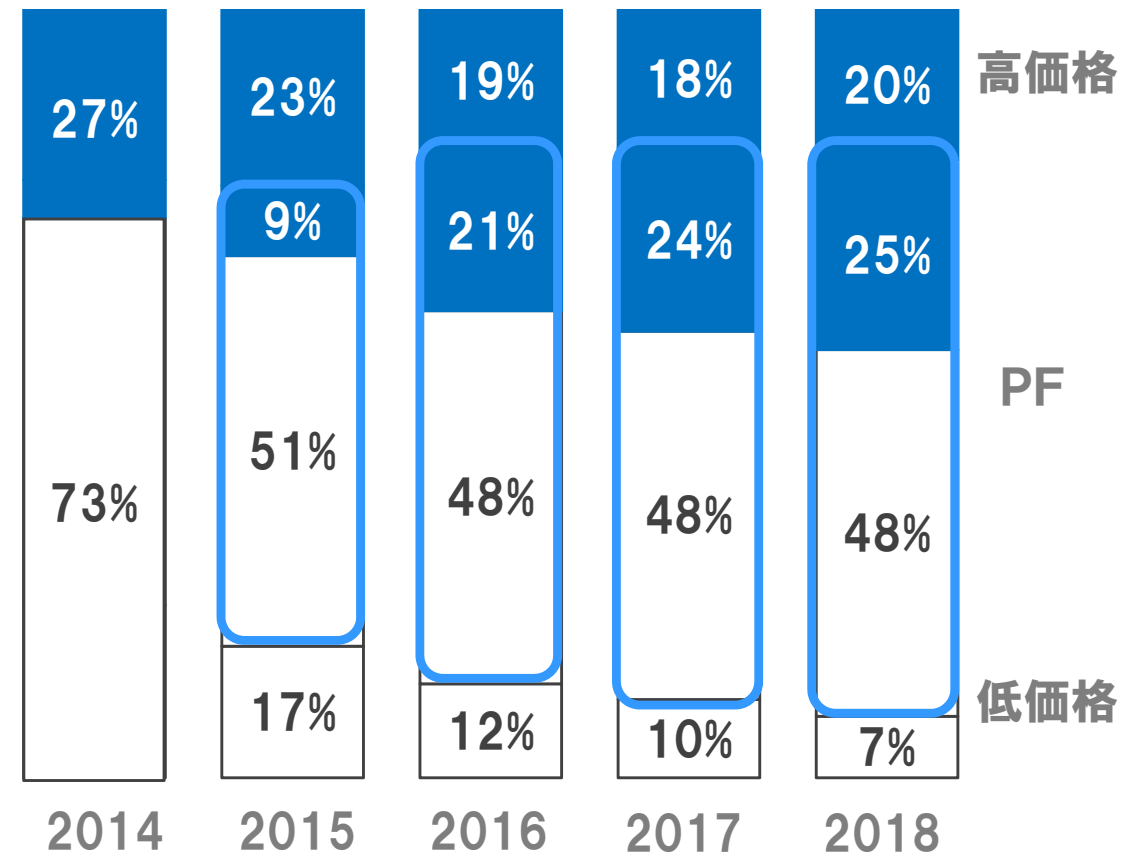


# 二輪車事業：アセアン

高収益事業へ、高価格・プラットフォーム化を進める。

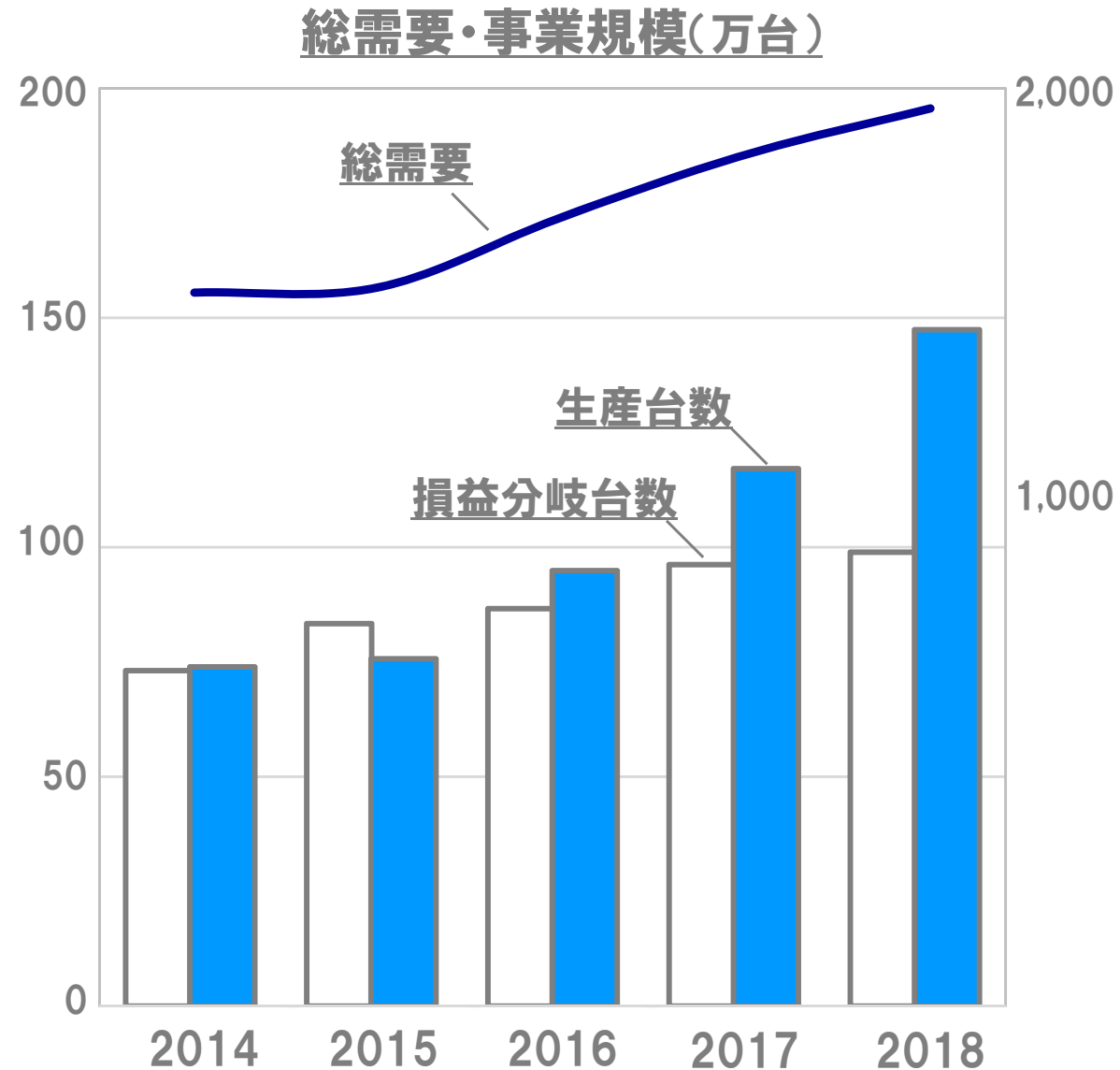
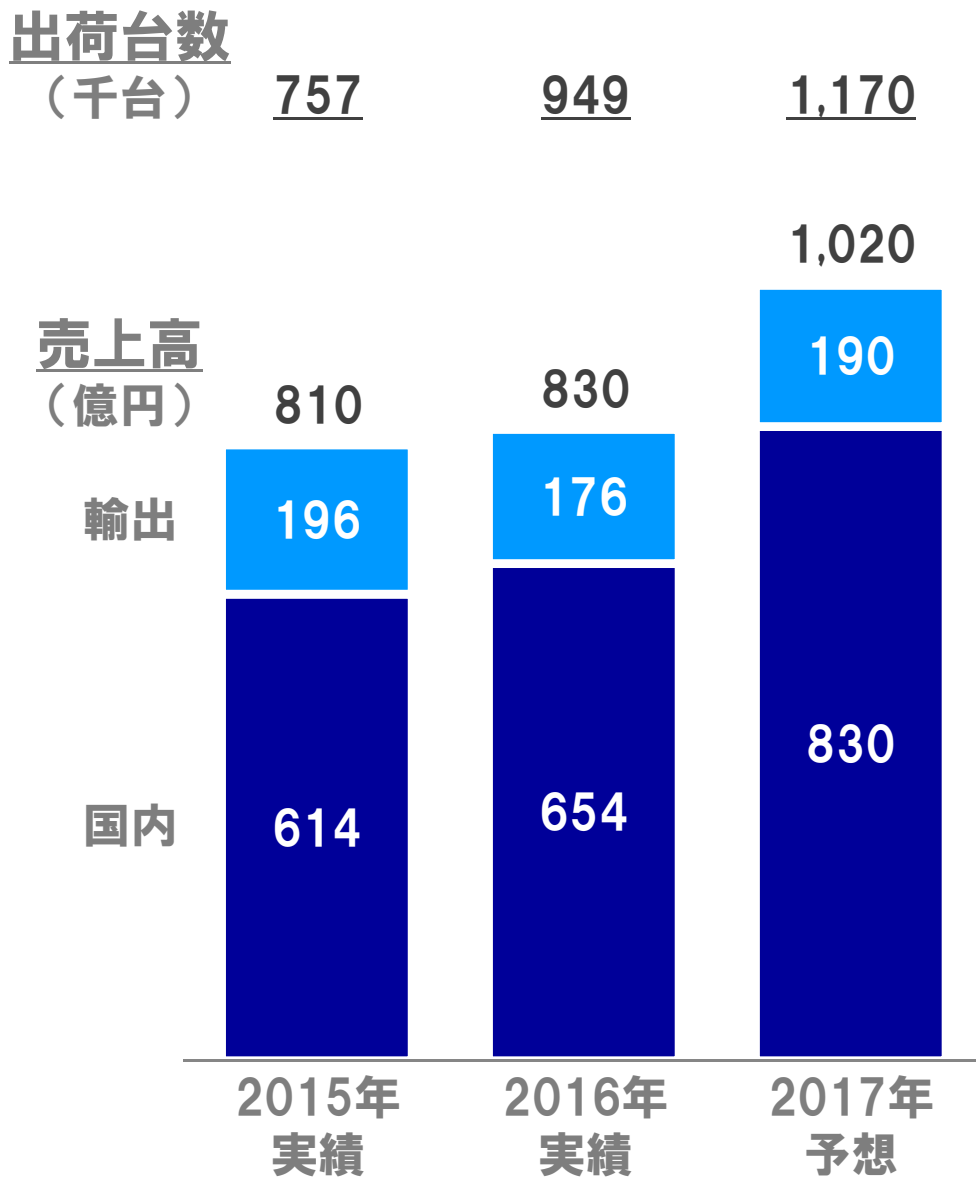


商品ミックス構成比率 (インドネシア)



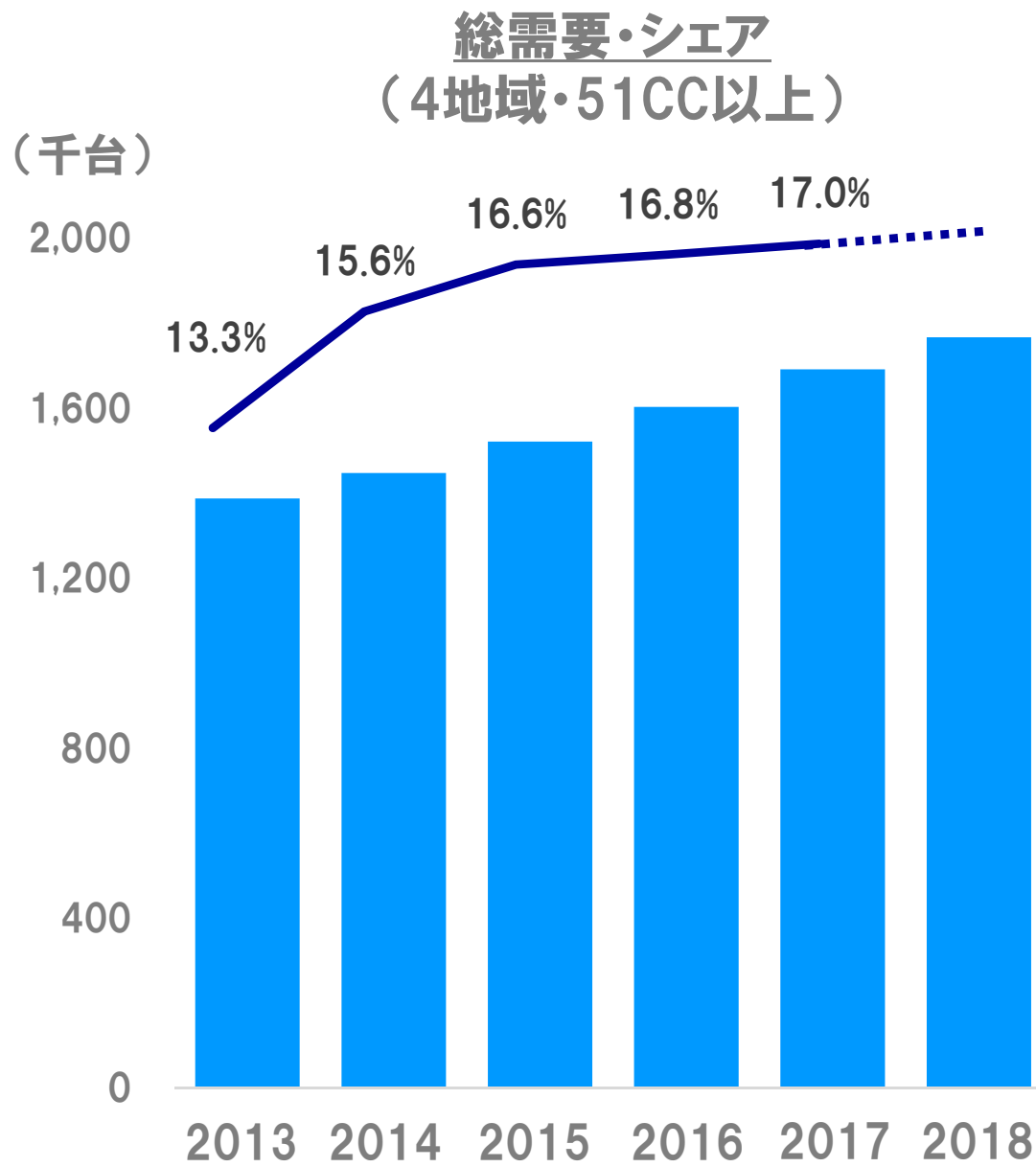
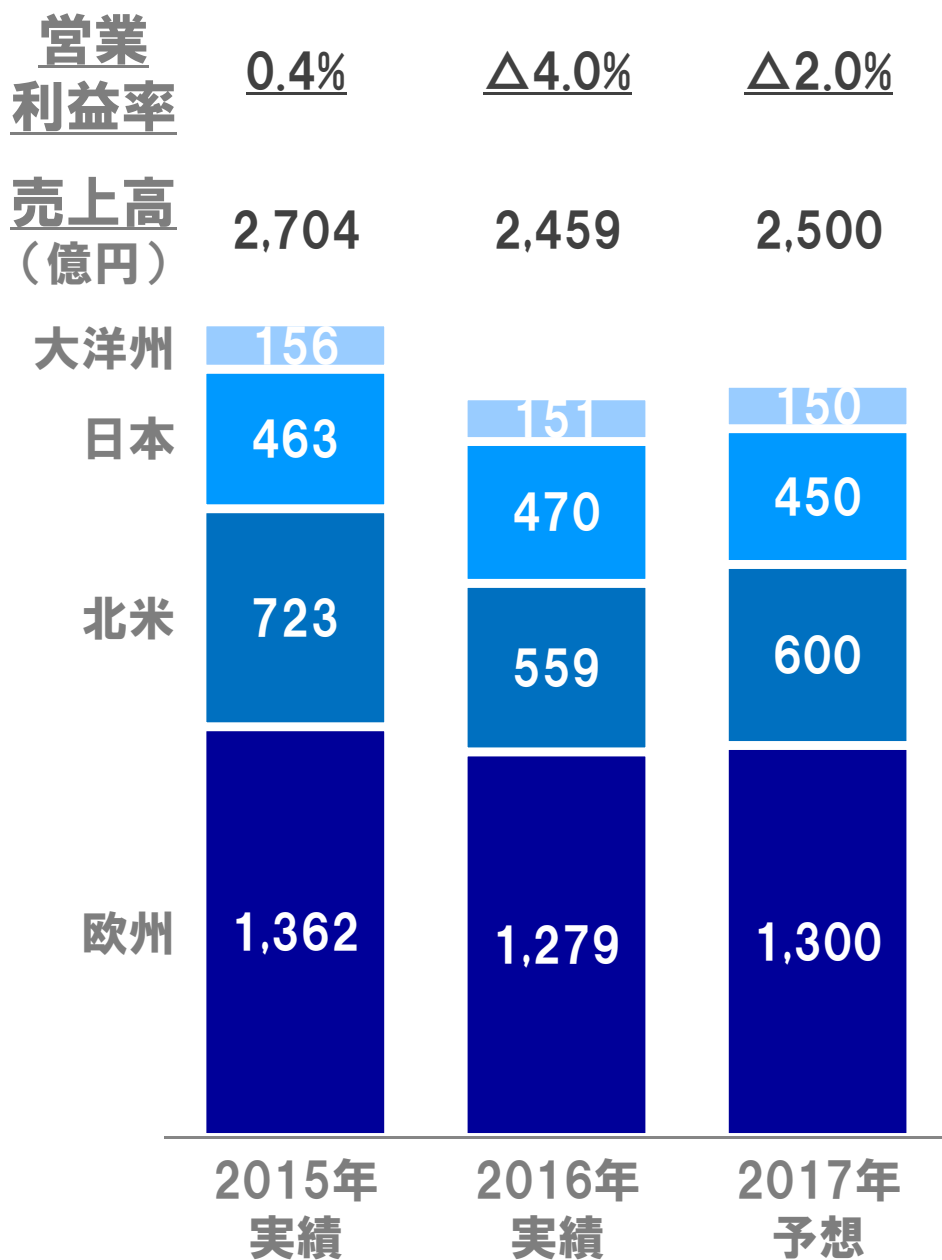
# 二輪車事業：インド

次の利益貢献事業へ、積極的に販売を拡大・生産能力を増強する。



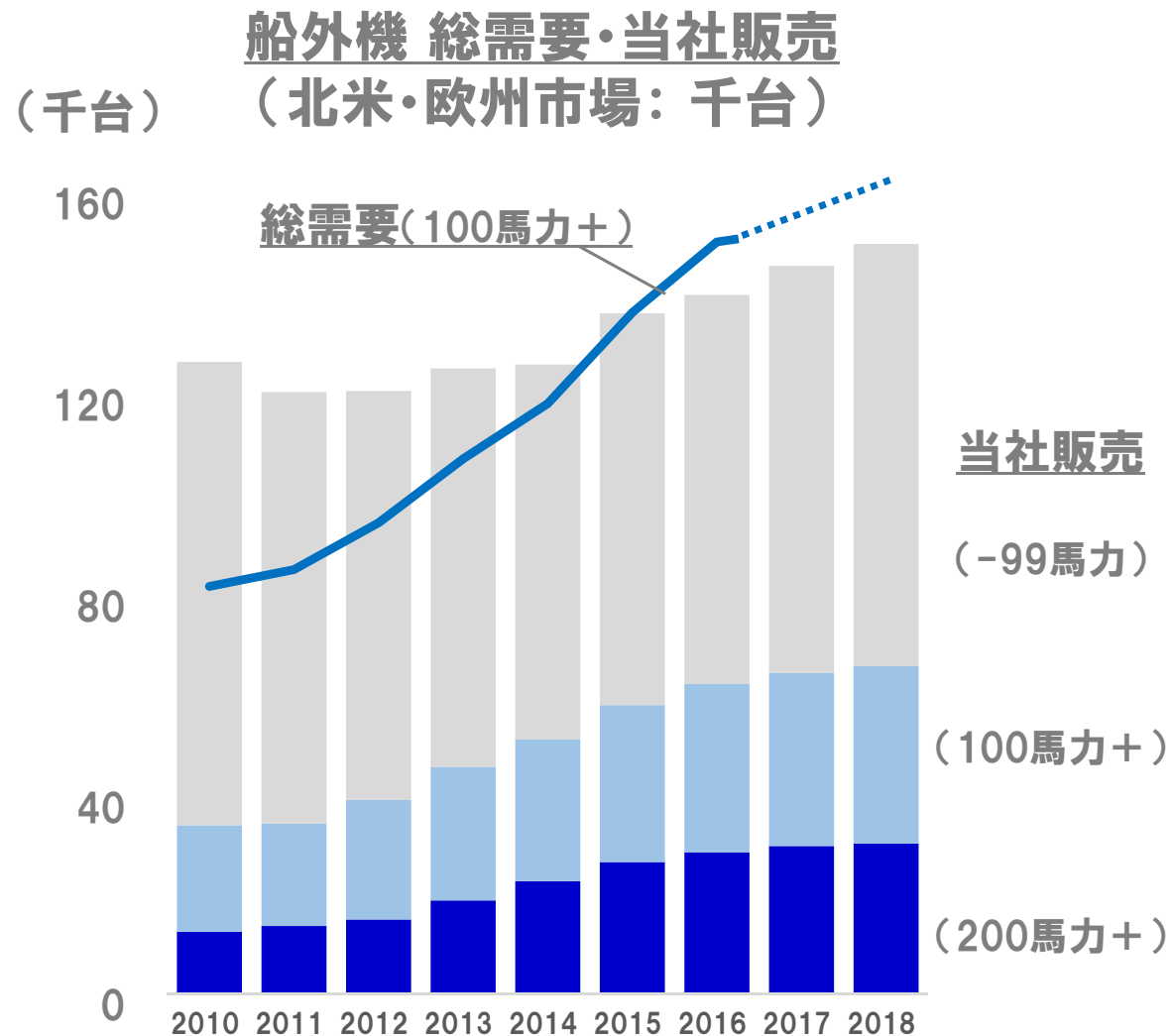
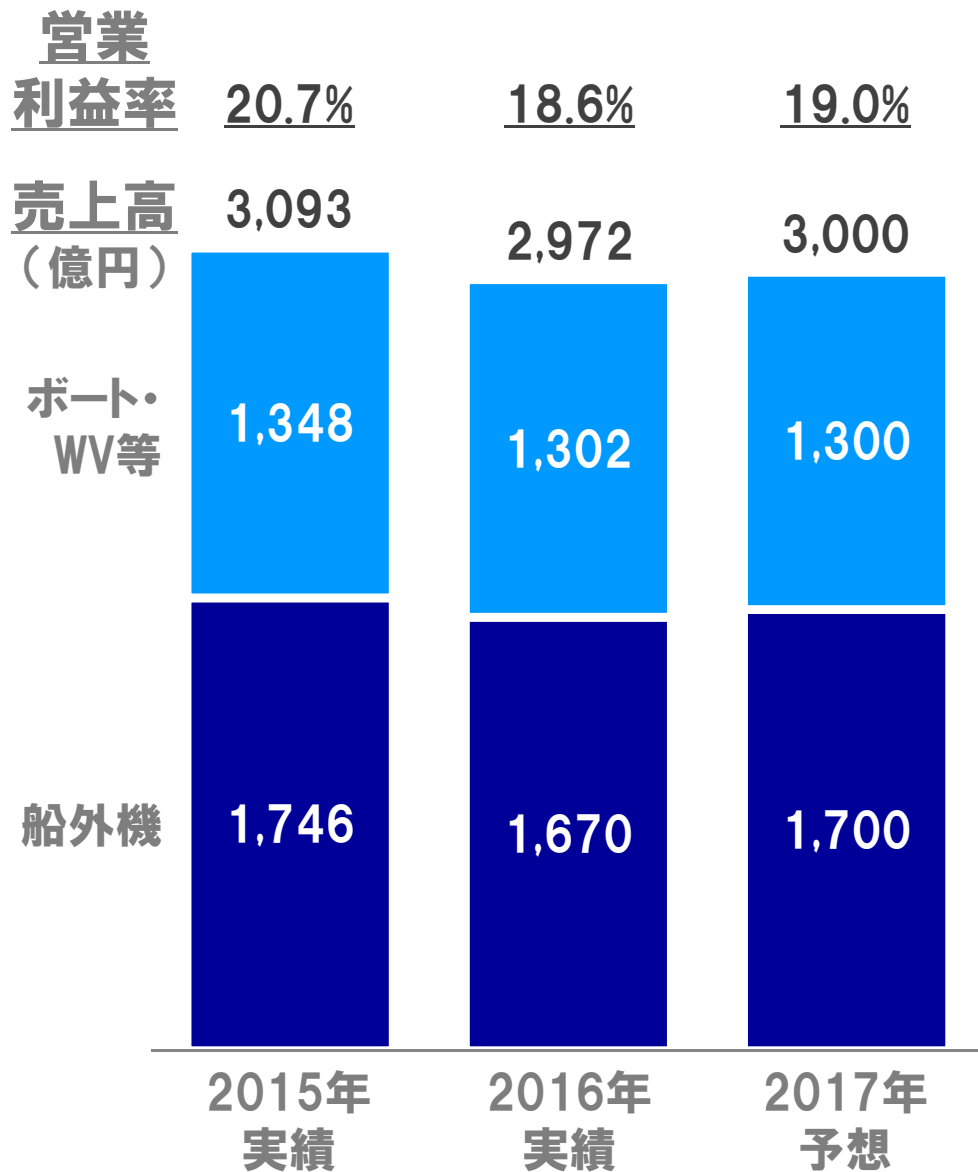
# 二輪車事業：先進国

安定的黒字事業へ、市場プレゼンスを高めながら構造改革を継続する。



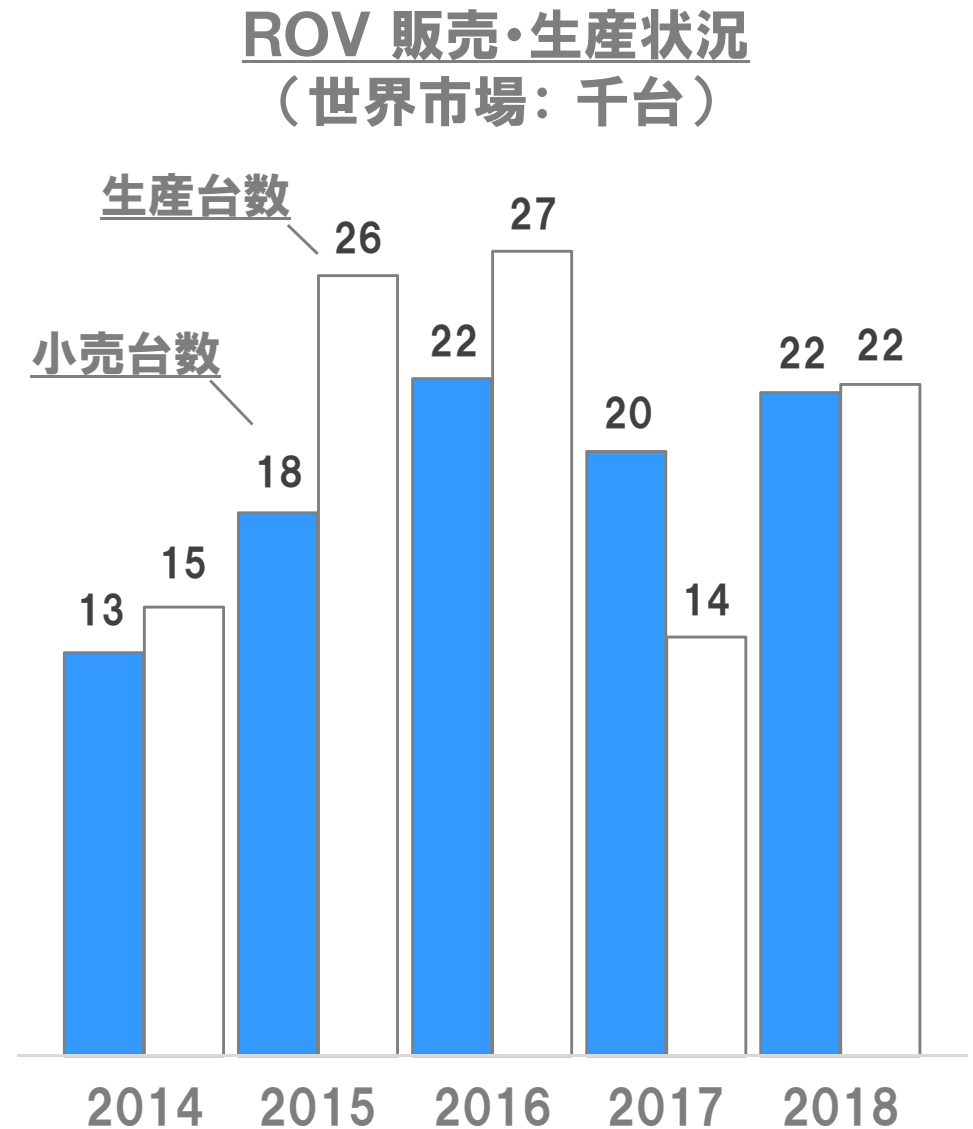
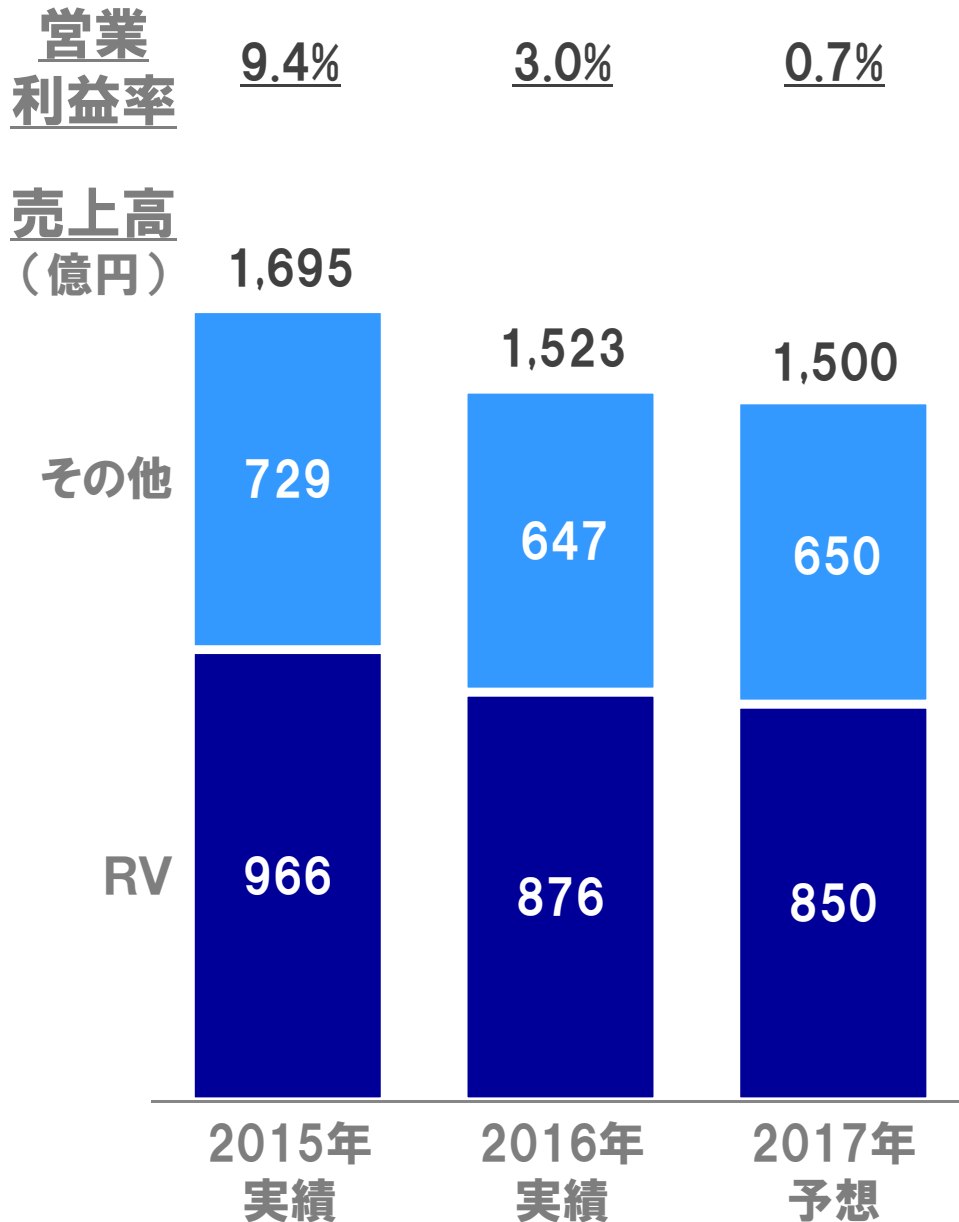
# マリン事業

更なる高収益事業へ、大型化・システムサプライヤー戦略を進める。



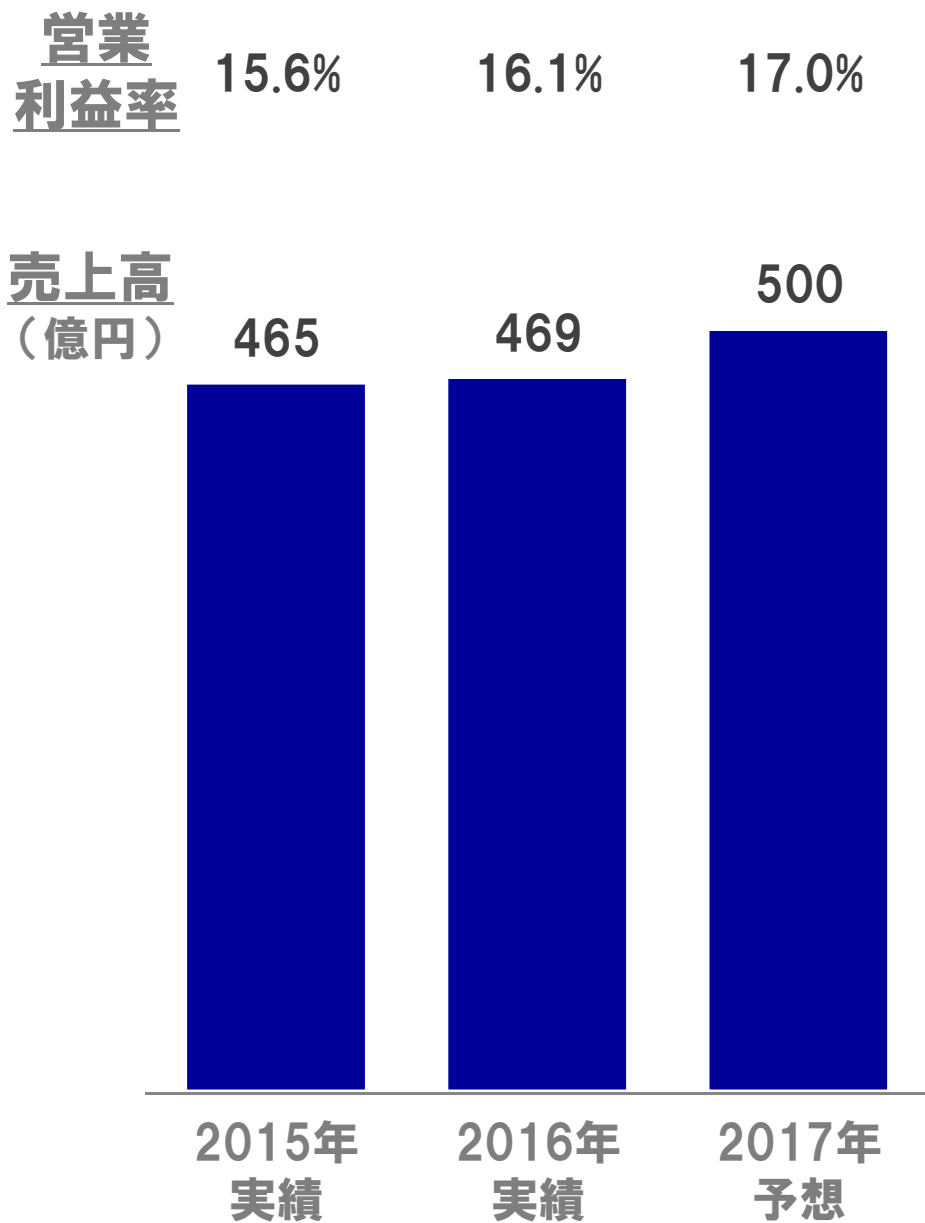
# 特機事業

ROV：事業正常化して、新しいプラットフォームで市場攻略する。



# IM事業

更なる高収益事業へ、次世代型ソリューションでお客様をひろげる。



■ **表面実装機**  
高速・多機能領域での高性能実現

Z-TAR YSM40R

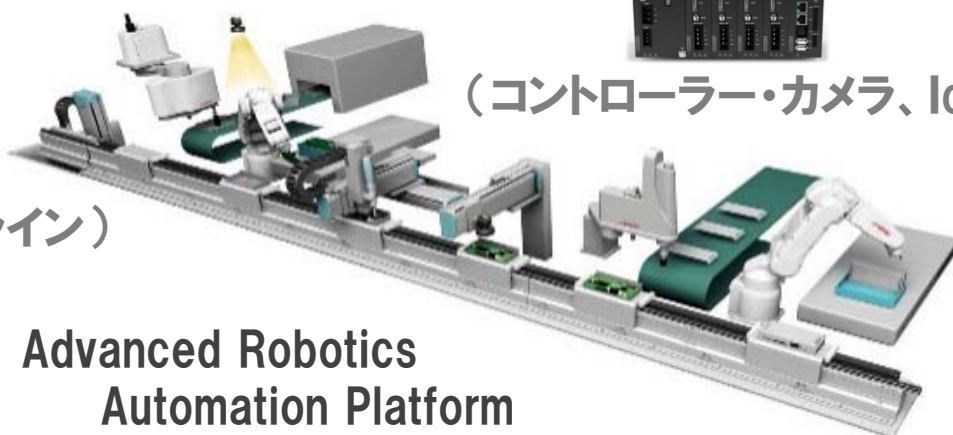


■ **産業用ロボット**  
統合制御技術＋多様なロボットシステム  
による高効率実現



(コントローラー・カメラ、IoT)

(FAライン)



Advanced Robotics  
Automation Platform



# PAS事業

高収益事業へ、世界市場でお客様をひろげる。

営業  
利益率

11.2%

15.6%

16.7%

出荷台数  
(千台)

売上高  
(億円)

264

322

330

306

356

448

470

500+

E-Kit

完成車

2015年  
実績

2016年  
実績

2017年  
予想

2014

2015

2016

2017

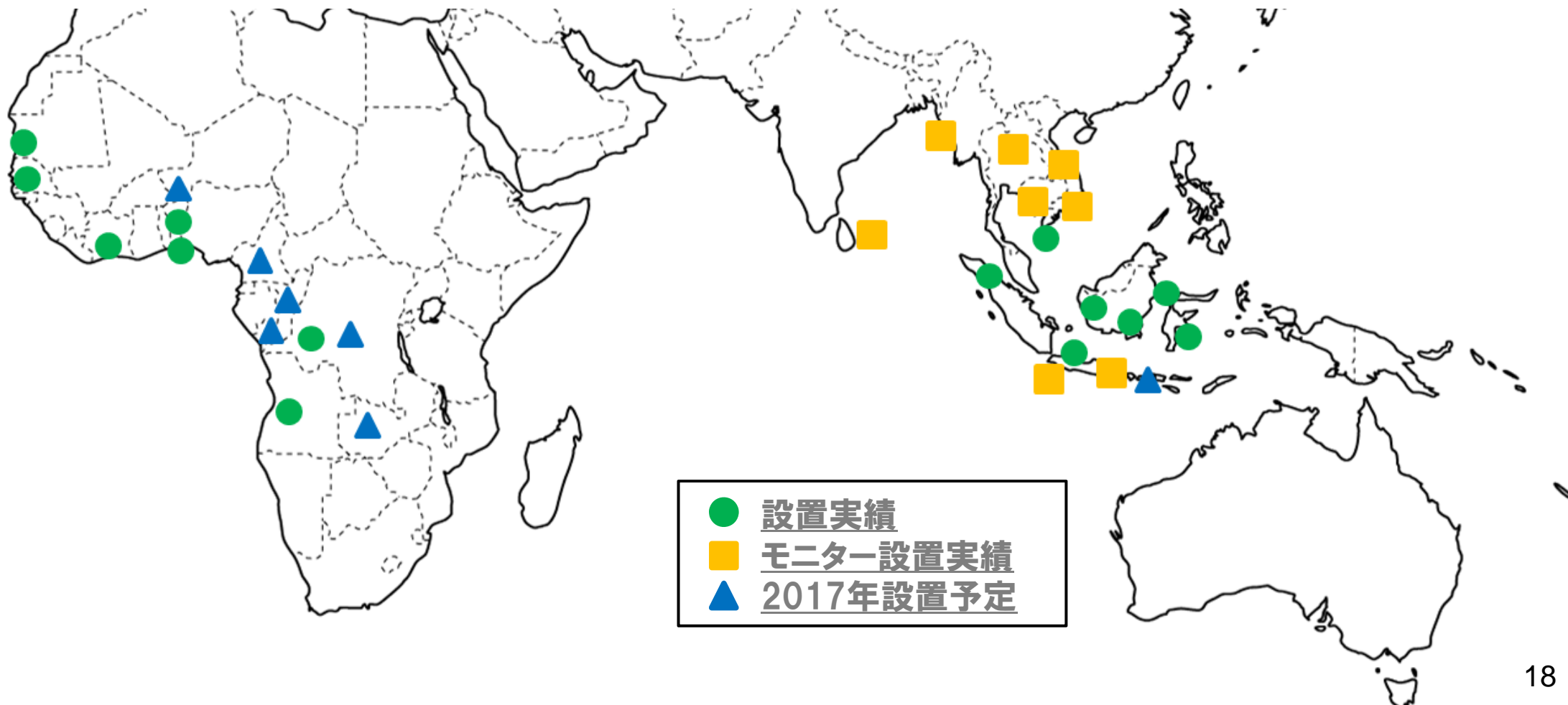
2018

# ESG 開発途上国の「豊かな暮らし」をつくる

## ヤマハ クリーンウォーターシステム

2016年：設置実績 22基（モニター含む）

2017年：設置予定 7基





**YAMAHA**

*Revs Your Heart*

# 主要商品別 総需要・当社出荷台数

台数単位:千台

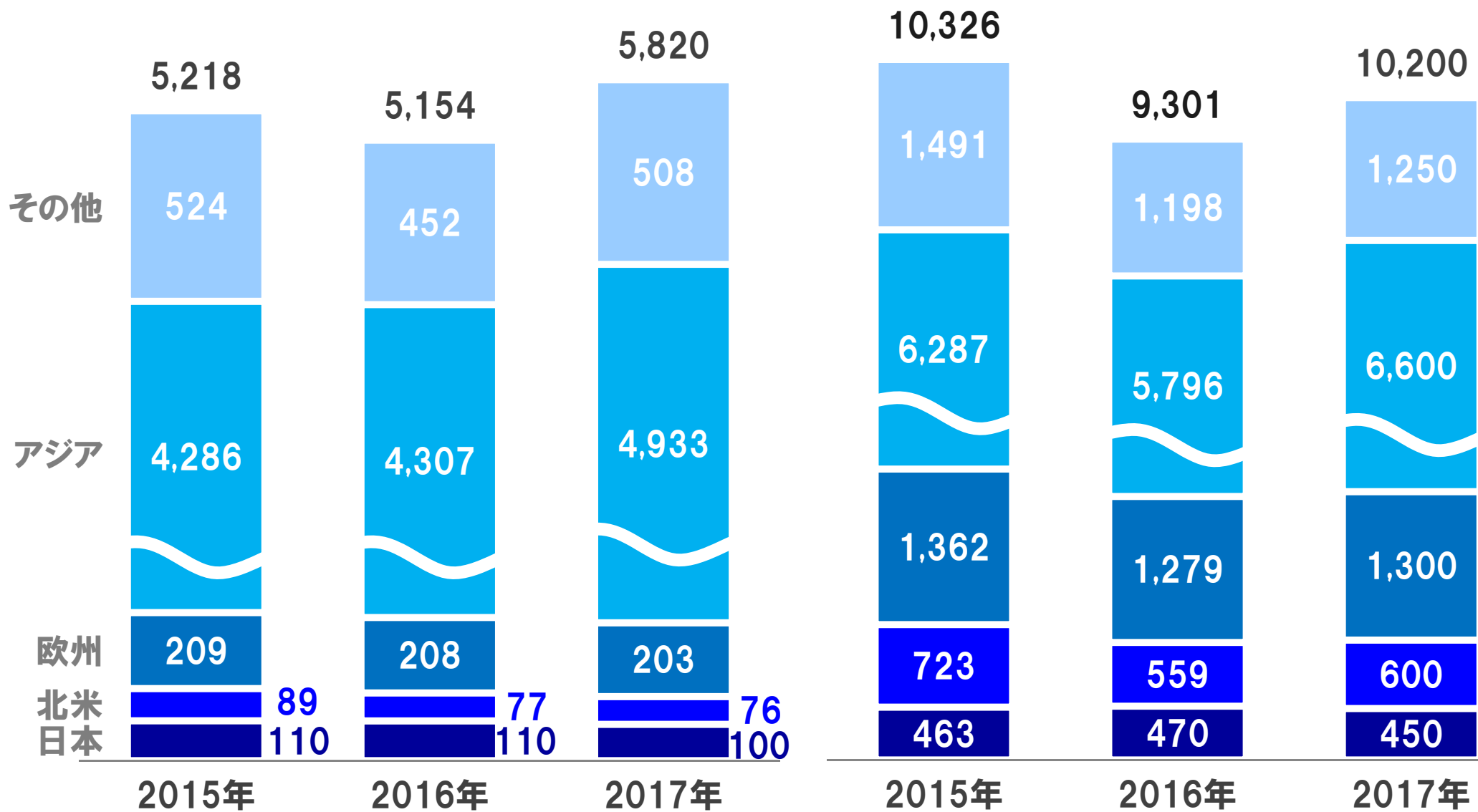
	総需要（当社推定）		
	15年実績	16年実績	17年予想
日本	407	373	376
北米	559	547	556
欧州	1,525	1,576	1,534
インドネシア	6,465	5,557	5,700
タイ	1,677	1,743	1,750
インド	16,089	17,641	19,000
ベトナム	2,849	3,120	3,214
台湾	706	852	750
中国	9,080	7,992	7,250
その他	4,070	4,822	5,050
アジア計	40,937	41,728	42,714
ブラジル	1,208	884	814
その他	8,000	6,666	6,874
その他計	9,209	7,550	7,688
<b>二輪車計</b>	<b>52,637</b>	<b>51,774</b>	<b>52,868</b>
船外機	742	717	734
ATV	435	412	419

	ヤマハ発動機 出荷台数		
	15年実績	16年実績	17年予想
日本	110	110	100
北米	89	77	76
欧州	209	208	203
インドネシア	1,799	1,394	1,595
タイ	225	240	288
インド	595	786	985
ベトナム	719	844	926
台湾	226	254	258
中国	307	247	269
その他	415	540	613
アジア計	4,286	4,307	4,933
ブラジル	131	100	102
その他	393	353	406
その他計	524	452	508
<b>二輪車計</b>	<b>5,218</b>	<b>5,154</b>	<b>5,820</b>
船外機	300	292	292
ATV	55	57	56

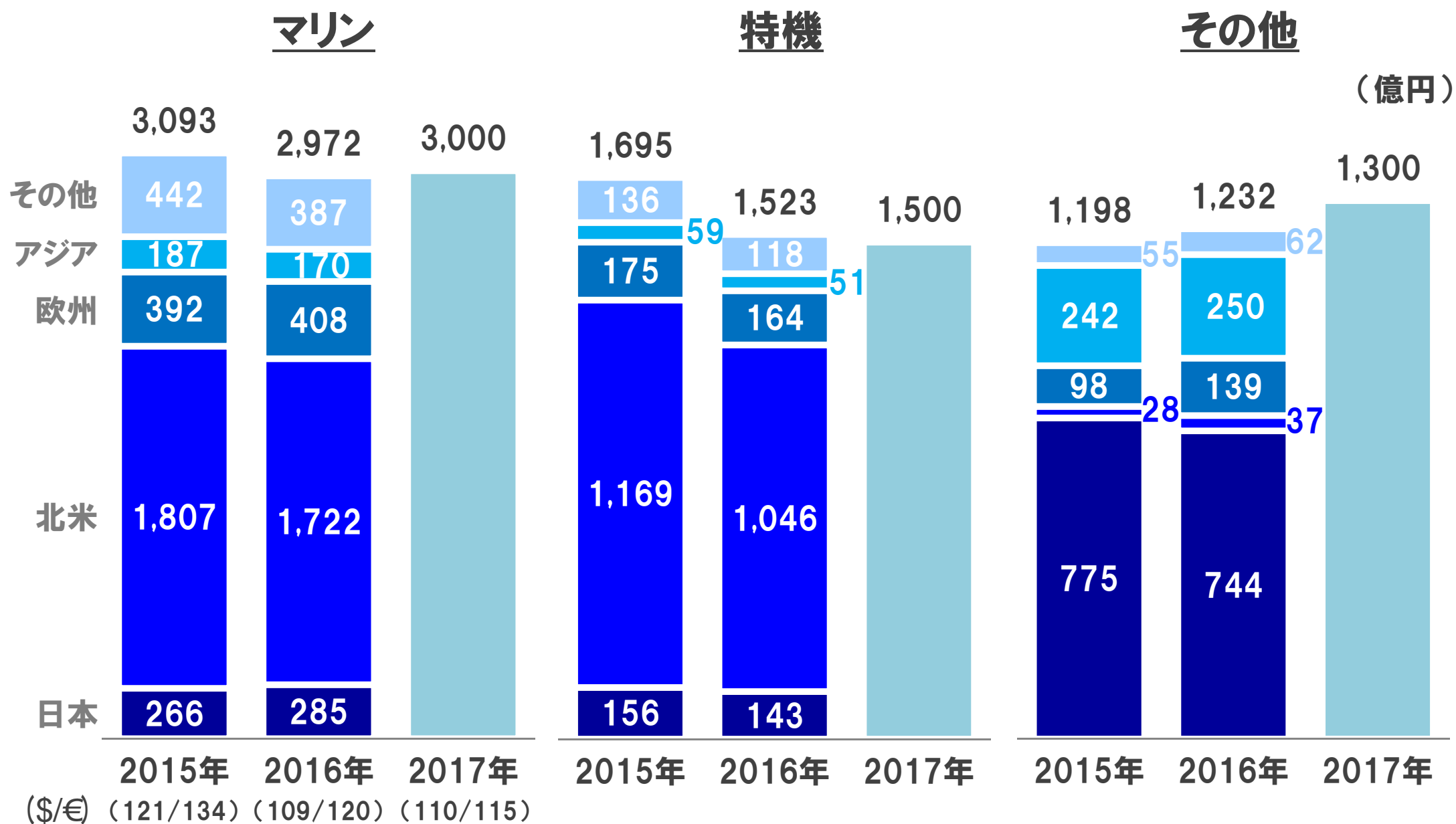
# 二輪車販売台数・売上高（年間）

**出荷台数** (千台)

**売上高** (億円)



# マリン・特機・その他 売上高（年間）



# 為替影響（対前年）

（億円）	16年実績（年間）				17年予想（年間）			
	US\$	EURO	その他	合計	US\$	EURO	その他	合計
本社の輸出入にかかる為替影響	△189	△67	0	△256	21	△54	7	△26
為替による仕入影響（海外子会社）	0	0	△81	△81	0	0	0	0
粗利益の換算影響（海外子会社）	△101	△38	△231	△370	8	△18	32	22
販管費の換算影響（海外子会社）	80	31	158	269	△5	13	△19	△11
<b>営業利益への為替影響</b>	<b>△210</b>	<b>△74</b>	<b>△154</b>	<b>△438</b>	<b>24</b>	<b>△59</b>	<b>20</b>	<b>△15</b>

## 為替感応度

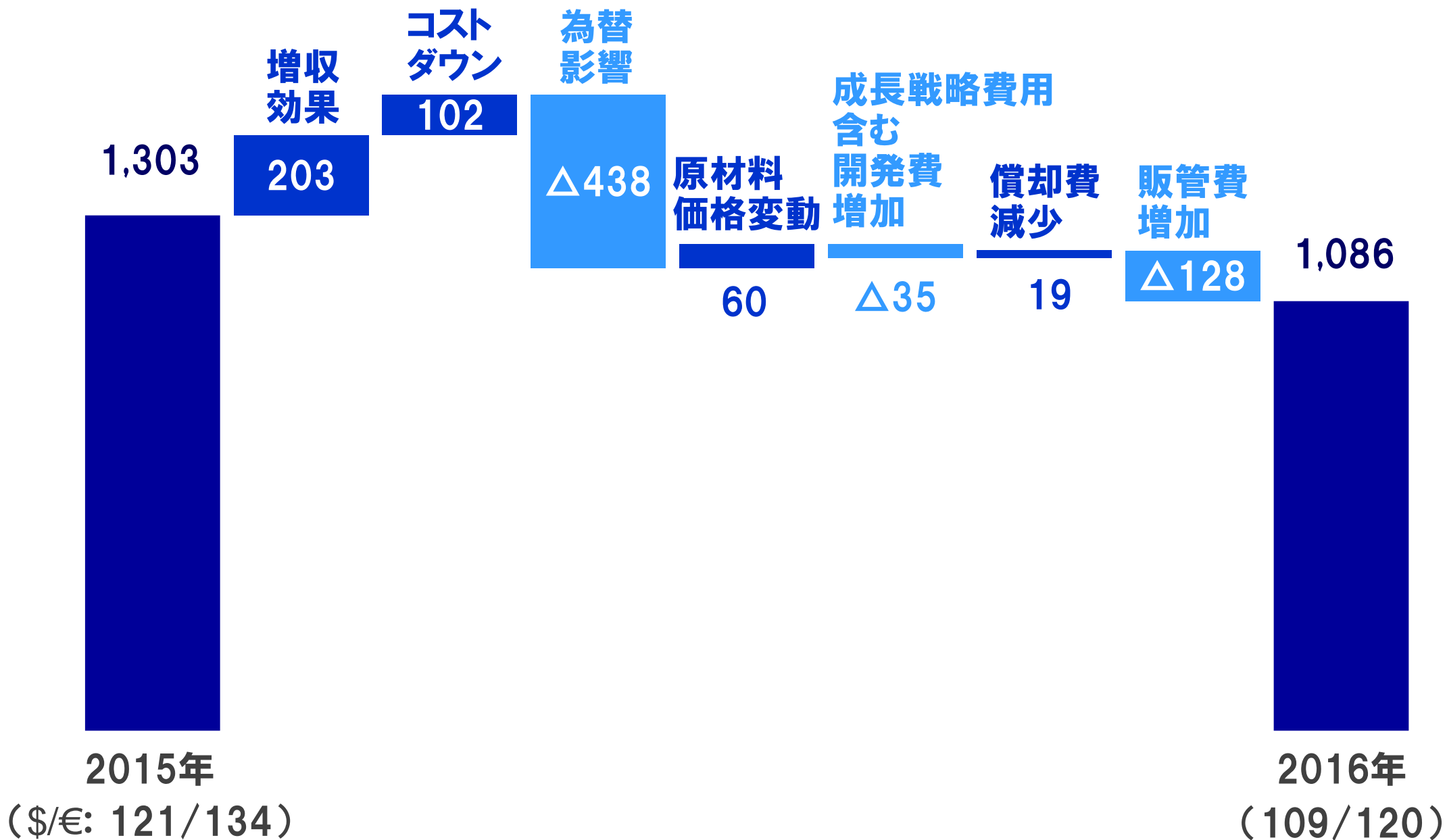
1円の変動が営業利益  
に与える影響額

US\$ 15億円  
EURO 6億円

US\$ 14億円  
EURO 8億円

# 営業利益変動要因（2016年実績）

（億円）





# 営業利益変動要因（2017年予想）

（億円）

